

# 経営改善普及事業取組事例集

会議所名： 鈴鹿商工会議所

指導員名： 北角隆佳

## 【企業概要】

事業所名：パソコン工房ヒグチ  
業種：スマホ・タブレット指導教室 従業員数：0名  
支援テーマ・内容：[経営革新支援]パソコン保守・メンテナンス業からスマホ・タブレット指導教室への業態変更

## 【支援に至った背景～経緯】

パソコンに関連する機器の販売台数が減少しており、パソコンの保守・メンテナンスの売上が頭打ちになってきていたため、新しい業態へ転換することとなった。パソコンの販売台数が減少する一方で、スマホ・タブレットなどのモバイル機器の販売が増加しており、モバイル機器を使いこなすことが困難なシニア世代から使い方を教えてくれるサービスの需要が高まりつつあった。そこで、モバイル機器を指導する教室に業態を変更することとなった。その際、知名度がまだ低かったため、販売促進の手法の指導と小規模事業者持続化補助金の申請について、相談が持ち込まれたため支援がスタートした。

## 【支援の経過】

- 平成27年5月 小規模事業者持続化補助金申請について、チラシの作成費用やホームページのリニューアル費用など申請書に記載する概要を確認・支援を行う。
- 平成27年9月 三重県版経営向上計画申請について、県の補助金申請や専門家派遣などを利用できるため申請を行うよう推奨し支援。
- 平成27年11月 販売促進について、新聞折込するチラシの内容などを確認し、アドバイスする。また、料金体系について、素案を作成し、参考にできるよう支援。

## 【支援のポイント】

- 課題の整理
  - ・業態変更之际して自社のSWOT分析を行い、問題点の把握、強みを活かした事業戦略の検討するためポイントを整理。
- 支援のポイント
  - ・新規事業に対する販売促進を行うために補助金申請の支援を行い、チラシに記載する内容などをアドバイスした。また、経営の向上に対する主体的な努力を促進し、その挑戦を後押しするだけでなく、意欲を引き出すために、発展段階に応じて計画を作成し、認定を行う三重県版経営向上計画の申請支援も行う。

## 【支援の効果・成果】

- 平成27年7月に小規模事業者持続化補助金が採択され、業態変更に必要な準備を開始。
- 平成27年10月23日に三重県版経営向上計画に認定を受ける。
- 平成27年11月25日にスマホ・タブレットの指導教室を開講し、PRチラシなどの効果により、順調に生徒数を伸ばす。

## 【支援策企業の声】

- 長年の構想を具体的な形にし、業態変更することができ、非常に感謝している。
- 鈴鹿商工会議所の全面的なバックアップで、持続化補助金や経営向上計画の採択を受けることができ、とても満足している。
- 鈴鹿商工会議所(経営指導員)にはいろいろ親身に相談に乗って頂き助けてもらった。今後も継続的な支援・指導をお願いしたい。